

市民タイムス・カガミ杯 未来のJリーガー躍動



ドリブルでキーパーを抜き、ゴールを狙う選手
(開智—ラウレ)

第37回市民タイムス少年サッカー新人戦カガミカップが30日に開幕した。出場した中信地区の33チームの選手たちは、新チームの力を試す絶好の機会とあって、初戦から積極果敢なプレーで躍動。磨いてきた個人技や連係を発揮して勝利を目指した。保護者らは熱戦に手に汗握り、好プレーに惜しめない拍手を送っていた。

(田中祥子) 【1面参照】



ハイタッチでゴールを喜び合う松本ウイングの選手たち(松本東—松本ウイング)



勝利を懸けたPK戦に臨む木曾の選手。力強いゴールを決めた(アラグラデー—木曾)

1日目の結果

エステーロ 6-1 堀金 南松本 0-0 塩尻サッカー PK1-2	明善 0-5 木曾 アラグラデー 0-1 旭町 PK0-1
波田 1-3 塩尻アルマーレ ポニントン 1-2 筑摩野 PK5-0	鎌田 1-5 フォルツァ アルフット 1-1 三郷 PK7-6
松本北 0-10 松本山雅 池田町 0-0 松本清水平 PK3-2	開智 1-4 ラウレ 梓川 3-0 筑摩
松本東 0-1 セダック 穂高北 0-4 松本ウイング	山形 松本松島 0-6 アンテロープ

※予選はリーグ戦。勝ち点が多いチームが決勝トーナメント進出(勝ち点) 勝ち=3点、負け=0点、PK勝ち=2点、PK負け=1点



頭上のボールをジャンプしてキャッチするキーパー
(池田町—松本清水)



試合を見守る保護者。コロナの影響で声援は控えめだったが、好プレーを拍手でたたえ、選手たちを後押しした



相手チームに囲まれながらも冷静なボール運びで突破口を探る木曾の選手(アラグラデー—木曾)



次の試合に備え、弁当やおにぎりを頼って鋭気を養う松本山雅の選手たち



全力疾走でボールを追う選手たち
(三郷—フォルツァ松本)